

## 形成外科のご案内

形成外科 藤田 純美



東京山手メディカルセンターでは令和元年5月から形成外科の常勤診療を始めました。みなさまは形成外科とはどんな科かご存知ですか？

多くの診療科では臓器ごとに専門分野が分かれていることが多いですが、形成外科では頭のてっぺんから足先まで治療の対象となります。特に内臓ではなく体の表面の治療をすることが多く、形を整えたり、傷を閉じたりする治療を行います。

実際にどのような治療をしているかいくつか具体例を挙げます。

### 皮膚皮下腫瘍・きずあと・潰瘍

皮膚や皮膚の下にできたできものの切除や、ケガの傷跡を目立たなくする治療をします。また褥瘍や潰瘍などのなかなか治らない傷を閉じる治療もします。

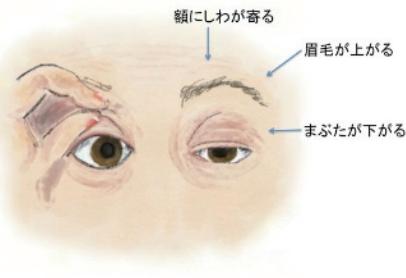
閉じきれないような傷である場合は、皮膚移植や皮弁の移植を組み合わせます。



### 眼瞼下垂症

お年を召されたり、コンタクトレンズを使用したりしている方は、上まぶたが下がってきて目にかぶさり、視界がせまくなることがあります。生まれつきまたは神経麻痺などにより眼瞼下垂になります。

当科ではまぶたが開きやすくなる手術をしております。



### 乳房再建

女性のがんで一番多いのは乳がんです。乳がん治療により乳房がなくなった患者様は乳房再建により乳房の形をもう一度作ることができます。過去に乳がん手術を受けた方もこれから治療を受ける方も再建手術を受けることができます。「胸を気にせず好きな服が着たい」

「温泉に行きたい」、様々な理由で再建を望まれる患者様がいます。

迷っていらっしゃる方がいましたら、いつでもご相談ください。



### 顔面骨骨折

体の表面ではありませんが、顔の骨折の治療も形成外科で行います。

### リンパ浮腫

「乳がんの手術の後に腕がむくむようになった」「お腹のがんの手術の後に足が腫れるようになった」。がんの術後の患者様にはこのような症状が出現することがあります。リンパ浮腫の診断と必要に応じて治療を行いますので、心配な方はぜひご相談ください。



治療によって患者様の悩みを解消するお手伝いをしたいと思います。どんな治療があるのか話を聞きたいという方はぜひ外来にいらしてください。